

かわまた

No.142

平成24年8月1日発行
福島県川俣町議会

議会だより

2年ぶりに開催された
小学校水泳競技大会



災害関連補正予算を可決 (6月定例会)
..... 2

町の課題を問う (一般質問) 6
国保税の税率を据え置き! 14
議会報告 15

写真提供: 総務課文書広報係

を可決!

総額5,502万円増

主 な 事 業

○議会映像配信事業	244万円
○除染支援業務委託料	2,277万7千円
○改正児童手当対応システム改修委託料	808万5千円
○ホールボディカウンター購入費	4,750万円
○災害廃棄物処理事業（倒壊家屋等解体工事費）	1億7,195万8千円
○農地等除染対策事業	2,169万9千円
○商品券発行事業補助金（プレミアム商品券）	300万円
○井戸修繕工事補助金	1,000万円

6月定例会は6月7日から13日までの7日間の会期で開かれ、除染対策や災害復旧事業などについて審議のうえ原案のとおり可決しました。

なお、一般質問は8人が登壇し、町政全般について当局の考えを質しました。

予算の補正

●一般会計補正予算

質問

シヤモ生産農家から強く要望されている、シヤモの運動場及び鶏舎の除染計画はどうなっているのか。

（高野善兵衛議員）

答

シヤモの鶏舎や運動場については、早期に除染する考えで、現在進めているところです。

（産業課長）

質問

学校管理業務委託料の補正が計上されていないが、その後検討したのか。（嶋原利光議員）

答

学校管理業務委託、いわゆる用務員の方の業務委託とスクールバス業務委託の委託料の格差について、現在検討しているところです。

（教育次長）

質問

シヤモ肉から6ベクレルの放射性物質が検出されたためにシヤモを



解体が決定したファンス中丁店

処分したと聞いたが、町では把握しているのか。

（高橋道也議員）

答

現在のところ報告は受けていませんが、詳細について調査したいと思っています。

（産業課長）

質問

災害廃棄物処理事業についてだが、未だに当初予算分について全く手がつけられていない状況にあるが、どのように考えているのか。

（遠藤宗弘議員）

答

現在発注している工事はありませんが、入札の手続きを進めているところであり、設計ができ次第、逐次早急に発注いたします。

（町民税務課長）

質問

ファンス中丁店についてはアスベストの使用が確認されているが、その飛散防止措置は講じられていないのか。

（村上源吉議員）

災害関連補正予算

【答】

建物の管理者は(株)運喜さんですので、アスベストの飛散防止対策について、町としても(株)運喜さんに確認したいと思います。(町民税務課長)

【質問】

交付税が10億円増えたが、6億円は使わずに貯金している。これは本来町民サービスのために使うべきものであつたはず。それを使わずに貯金してしまったということとは、町民サービスを低下させたことになると思うが、その認識はあるか。(高橋道弘議員)

【答】

通常の行政サービスについては例年どおり確保していると認識していますが、災害対策に活用すべきとの指摘もありましたので、その方向で検討する必要があると考えます。(企画財政課長)

●平成23年度一般会計補正予算

【質問】

例月出納検査の予算額と専決補正の予算額が合わないのはなぜか。例月出納検査の歳入歳出の金額は専決補正のそれぞれの金額に合わせるべきではないか。(高橋道弘議員)

【答】

議員ご指摘のとおり、専決補正に計上した額が正しい額になります。(企画財政課長)

【質問】

特別交付税のうち2億6千万円を庁舎建設に使うとのことだが、災害対策のために交付された特別交付税を庁舎建設に使えるのか。(菅野清一議員)

【答】

特別交付税の中の行政機能移転費用として交付されたものですが、災害対策全般への充当も含めて活用してまいります。(企画財政課長)

【質問】

特別交付税2億6千万円が行政機能移転

費用として交付されているのであれば、町民も職員も不自由しているのが、早急に仮庁舎を建設すべきと思うがどうか。(嶋原利光議員)

【答】

庁舎建設については、仮庁舎ではなく本庁舎の建設について検討しているところです。2億6千万円の使途については、交付の趣旨を踏まえながら活用していく考えです。(永田副町長)

●平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算

【質問】

4月末時点の専決補正と例月出納検査の収入額に開きがあるが、その原因は何か。(高橋道弘議員)

【答】

後期高齢者医療特別会計で資金不足が生じたために、一般会計の資金を一時的に運用していた関係で開きが生じたものです。(会計管理者)

●平成23年度工業団地造成事業特別会計補正予算

【質問】

収入済額の内訳はどうなっているのか。(高橋道弘議員)

【答】

収入済額の内訳は、財産収入が1313万8473円、使用料及び手数料が134万4080円、繰入金が1億5264万9839円で、合計1億6713万2392円となるものです。(産業課長)

人事案件

●人権擁護委員の候補者の推薦について

佐藤清子氏を人権擁護委員の候補者として推薦することに同意しました。



佐藤 清子氏
(大字鶴沢字細越)

取り壊しが決まった役場庁舎



議 員 提 案

6月定例会における議員提案は2件で、それぞれ関係機関に送付しました。

大飯原発再稼動に反対する意見書

政府は、関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）の再稼動について、最終判断を行おうとしている。

しかし、福島第一原発事故の原因究明について国会事故調査委員会が参考人の聴取過程にあり、未だ事故原因の真相が究明されていない。

ストレステストで“安全”が確認されたと言ってもコンピューターでのシミュレーションであって実際の検証ではない。政府がとりあえずやるべきとした「安全対策」さえ取られていない。福島第一原発事故から地震・津波の学問的知見を根底から見直す必要が指摘されながらも事故が起こった場合の放射能被害の予測も住民避難計画も策定されていない。

福島第一原発事故から1年3ヶ月が経過したにもかかわらず、いまだ16万人が過酷な避難生活を強いられ、除染も賠償も進まず、福島県民は先行きに展望をもてない状況におかれている。

原発事故被災住民として、我々は今回の事態を二度と繰り返さないために、大飯原発は再稼動しないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月7日

衆 議 院 議 長 横路 孝弘 様
参 議 院 議 長 平田 健二 様
内 閣 総 理 大 臣 野田 佳彦 様
総 務 大 臣 川端 達夫 様
財 務 大 臣 安住 淳 様
厚 生 労 働 大 臣 小宮山洋子 様
農 林 水 産 大 臣 郡司 彰 様
経 済 産 業 大 臣 枝野 幸男 様
文 部 科 学 大 臣 平野 博文 様
原発事故の収束及び
再発防止担当大臣 細野 豪志 様
復 興 大 臣 平野 達男 様

福島県伊達郡川俣町議会

消費税増税をしないことを求める意見書

原発事故から1年3ヶ月が経つが、放射能被害は一層深刻さを増しており、今なお避難者は16万人を超え、6万人余は福島県を離れて避難している。

ふるさとを奪われ、職場や仕事を奪われ、地域社会のきずなを断ち切られ、家族さえもばらばらにされている。

また、長期化する不況下で発生した東日本大震災・原発事故は、全国的に大きな影響を与えているが、特に、被災者と被災地を特別困難な状況に陥れている。

消費税は、もともと低所得者に負担が重い逆進性の強い税金で、この時期に消費税増税を行えば国民の生活を直撃し、更なる景気低迷という悪循環をもたらすことになる。

特に、生活再建や家財道具購入、家の修繕等が必要な被災者には最も厳しい税金であるとともに、町民の暮らしに大打撃を与えることになる。そして、消費税法では被災者や被災地への減免措置は制度上不可能となっている。

もともと消費税は、「高齢化社会を支えるため」「福祉の財源にする」という理由で導入されたが、年金保険料の大幅な値上げ、支給年齢の引き上げ、医療費の負担増など、その後の経過を見れば明らかなように社会保障は年々悪化する一方である。

また、財政再建という点でも、国と地方の債務残高は900兆円を超えるところまで悪化し、消費税が国家財政に貢献しないことは明らかである。「税・社会保障の一体改革」案は、増税と社会保障の改悪を一体に推し進めるもので、見過ごすわけにはいかない。

よって、国においては、町民の生活、地域の経済に深刻な打撃を与える消費税を増税しないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月13日

衆 議 院 議 長 横路 孝弘 様
参 議 院 議 長 平田 健二 様
内 閣 総 理 大 臣 野田 佳彦 様
総 務 大 臣 川端 達夫 様
財 務 大 臣 安住 淳 様
社会保障・税一体
改 革 担 当 大 臣 岡田 克也 様

福島県伊達郡川俣町議会

● 川俣町議会定例会請願審査結果 ●

受理 番号	付託委員会	件 名	請願者住所及び氏名	紹介議員 氏 名	審査 結果
9	産 業 建 設 常任委員会	町道認定に関する請願書	川俣町大字鶴沢字下沖免7-17 鶴沢地区遠西行政区 区長 高瀬 博太 外11名	高野善兵衛	採択
10	産 業 建 設 常任委員会	町道認定に関する請願書	川俣町大字鶴沢字下沖免7-17 鶴沢地区遠西行政区 区長 高瀬 博太 外9名	高野善兵衛	採択
11	産 業 建 設 常任委員会	町道の認定と整備改良に関する請願書（坊ノ入地内）	川俣町大字東福沢字坊ノ入56-6 藤原 徳男 外4名	高橋 道弘 高橋 道也	採択
12	産 業 建 設 常任委員会	町道の認定と整備改良に関する請願書（上ノ台地内）	川俣町小綱木字上ノ台31 菅野 陽一 外6名	高橋 道弘 村上 源吉	採択
13	産 業 建 設 常任委員会	仲ノ内地内の道路補修・改修に関する請願書	川俣町字仲ノ内22 仁井町々内会長 佐藤 紘一 外21名	村上 源吉 高橋 道弘	採択
14	産 業 建 設 常任委員会	町道、反田・宮田線全線舗装に関する請願書	川俣町小綱木字反田25-6 菅野 貞 外7名	村上 源吉 嶋原 利光 高橋 道弘	採択
15	産 業 建 設 常任委員会	町道認定及び整備に関する請願書 （羽田鶴巻・三郷地内）	川俣町大字羽田字粕内67 福田下組区長 佐藤 治 外10名	佐藤喜三郎	採択
16	産 業 建 設 常任委員会	本町根本地区内の生活道路の町道認定と改良に関する請願書	川俣町字根本30-1 菅野 宰司 外19名	高橋真一郎 嶋原 利光	採択

6 月 定 例 会 審 議 結 果（平成24年6月7日～13日）

議 案	件 名	審 議 結 果
第33号	川俣町税条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第34号	川俣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第35号	平成23年度川俣町一般会計補正予算（第10号）	可決（全会一致）
第36号	平成23年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第37号	平成23年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第5号）	可決（全会一致）
第38号	平成23年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第39号	平成23年度川俣町工業団地造成事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第40号	川俣町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第41号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決（全会一致）
第42号	平成24年度川俣町一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	可決（全会一致）